

(1) 数値目標の達成状況の確認（確定値）

(様式4-①)

(様式4-②)

交付終了年度又は交付期間の翌年度に実施した事後評価において、数値目標の達成状況について「見込み」で評価を実施した指標、及び、交付終了後1年以内に達成見込み「あり」とした指標について、「確定値」を計測し、市町村が事前評価（都市再生整備計画）において位置づけたまちづくりの目標の達成状況を確認します。

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

- ◆都市再生整備計画に記載した「目標を定量化する指標」について、フォローアップの時点で数値目標が達成されたか否かを確認します。
- ◆フォローアップによって計測された「確定値」と、評価値の間に大きな差異がある場合や従前値と比べて改善が見られない場合、あるいは、改善策を実施してもまちづくりの目標並びに数値目標が達成できなかった等の場合には、「今後のまちづくり方策」や「改善策」を再検証して下さい。

様式4-② その他の数値指標の確定

- ◆その他の数値指標について、フォローアップの時点での効果を検証します。
- ◆フォローアップによって計測された「確定値」と、評価値の間に大きな差異がある場合や従前値と比べて改善が見られない場合には、「今後のまちづくり方策」や「改善策」を再検証して下さい。

【記入例】 様式4-①～② 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標及びその他の数値指標の確定

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

| 指標 | 単位 | 従前値 | 目標値 | 事後評価 | | | | フォローアップによる確定値 | 計測時期 | フォローアップ時点での達成度 | 確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等 | | 総合所見 |
|-----|----------------|------|--------|--------|----------|-----------|------------|---------------|--------|----------------|------------------------------------|--|---|
| | | | | 評価値 | 見込み・確定の別 | 目標達成度 | 1年以内の達成見込み | | | | 理由 | 改善策の方向性 | |
| 指標1 | コミュニティバスの乗客数 | 千人/年 | 200 | 220 | 237 | 確定 見込み | ● ○ | あり なし | 235 | R4年5月 | ○ | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | コミュニティバスは市民、観光客の移動の足として好評であり、多くの人に利用されている。 |
| 指標2 | 商店街の歩行者通行量(休日) | 人/日 | 9,000 | 9,900 | 9,600 | 確定 見込み | ● △ | あり なし | 10,400 | R4年8月 | ○ | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 市街地再開発事業と城址公園整備の相乗効果により、歩行者数(まちなかの歩行者数)が増加している。 |
| 指標3 | 地区の小売販売額 | 億円/年 | 800 | 880 | 840 | 確定 見込み | ● △ | あり なし | 855 | R4年10月 | △ | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | Bショッピングプラザ閉鎖の影響が大きかったが、再開発ビルへの都市機能の集約等により、歩行者数(まちなかの歩行者数)が増加している。 |
| 指標4 | 城址公園の来訪者数 | 千人/年 | 70 | 91 | 95 | 確定 見込み | ● ○ | あり なし | 97 | R4年5月 | ○ | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 公園の再整備と郷土歴史館開設の相乗効果により、来訪者数が増加している。 |
| 指標5 | 地区の居住人口 | 人 | 10,200 | 10,200 | 9,800 | 確定 見込み | ● △ | あり なし | 9,850 | R4年5月 | △ | 予想以上に人口減少が続いた。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 予想以上に人口減少が続いたため、目標は達成できなかったが、事業実施により人口減少に歯止めがかかっている。 |

様式4-② その他の数値指標の確定

| 指標 | 単位 | 従前値 | 目標値 | 事後評価 | | | | フォローアップによる確定値 | 計測時期 | フォローアップ時点での達成度 | 確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等 | | 総合所見 |
|-----------|-----------------|-----|-----|------|-----------|-----|------------|---------------|--------|----------------|---|--|------|
| | | | | 評価値 | 見込み・確定の別 | 達成度 | 1年以内の達成見込み | | | | 理由 | 改善策の方向性 | |
| その他の数値指標1 | 地区の小売販売額の対全市シェア | % | 23 | 28 | 確定 見込み | ● | あり なし | 26 | R4年10月 | △ | 評価値の見込み推計が甘かった。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 評価値(推計値)よりは少ないが、歩行者数の増加等により、従前より対全市シェアは増加している。 | |
| その他の数値指標2 | | | | | 確定 見込み | | | | | | | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | |
| その他の数値指標3 | | | | | 確定 見込み | | | | | | | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | |

①

②

③

④

⑤

① 事後評価結果

……事後評価シートの様式2-1、添付様式2-①、2-②から転記します。
 フォローアップの必要のない指標も含めて、全ての指標について転記します。

② フォローアップによる確定値、計測時期

……フォローアップによる確定値として計測した値とその計測時期を記入します。
 ※フォローアップの必要のない指標については記入不要です。

③ 達成度

……フォローアップ時点での達成度を記入します。
 ※フォローアップの必要のない指標については記入不要です。

| 評価の基準 | 達成度 |
|--|-----|
| 確定値が目標値を上回った場合。 | ○ |
| 確定値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合。 | △ |
| 確定値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合。 | × |

④ 確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等

……その理由を考察し記入します。また、改善策が適切であったかどうかを検証した上で、改善策の方向性を示します。「改善策に補強が必要」及び「新たな改善策を立てる」を選択した場合には、様式4-④に具体的な方策を記入します。
 ※フォローアップの必要のない指標については記入不要です。

⑤ 総合所見

……フォローアップ結果を踏まえた総合所見を記入します。
 フォローアップの必要のない指標も含めて、全ての指標について記入します。

(2) 今後のまちづくり方策の検証

(様式4-③)

(様式4-④)

都市再生整備計画事業等の事後評価では、交付終了後も事業の効果を持続させるとともに、未解決の課題については引き続き努力するよう「今後のまちづくり方策」を明らかにします。

ここでは、「今後のまちづくり方策」について、フォローアップ時点での進捗状況を確認し、さらなる改善策等が必要かどうか検討します。

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

- ◆事後評価シート添付資料5-③に記入した「今後のまちづくり方策」について、フォローアップ時点での進捗状況を確認します。

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

- ◆確定値の計測・評価、及び、今後のまちづくり方策の進捗状況を確認した結果、今後のまちづくり方策に新たに追加すべき事項がある場合に記入します。
- ◆特に、確定値が従前値又は評価値と比較して大きく差異がある場合や改善が見られない場合には、今後の方策を検討して下さい。

〔記入例〕 様式4-③～④ 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

| 事後評価シート様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項) | 実施した具体的な内容 | 実施した結果 | 今後の課題 その他特記事項 | |
|---|---------------------|---|---|--|
| ・成果を持続させるための行う方策 | 整備した施設の利活用促進・維持管理 | ・商店街及びまちづくり会社が主体となり、毎月2回イベント広場でマルシェを開催する等、整備したイベント広場の利活用が図られている。 | ・商店街の歩行者量(休日)が目標である10%増加に対し、15%の増加となり、イベント等の効果が現れている。 | ・イベント広場以外の施設については、利用の方向性が明確になっておらず、利活用促進に向けた検討が必要である。 |
| | 地域住民と来訪者等の交流促進 | ・イベント広場でのマルシェの開催により、地域住民や来訪者等、多くの人が訪れている。 ・商業高校の生徒が商店街でインターンシップを開始することが決定した。 | ・地域住民と来訪者、高校生と商店街との交流機会が創出されている。 | ・地域主導による取組を推進するため、市の役割を明確化し、適切なサポートを行う必要がある。 |
| 改善策 | Bショッピングプラザの方向性検討 | ・Bショッピングプラザ建物の今後のあり方について、所有者と意見交換を行った。 | ・今後も継続して意見交換を行い、今後の方向性を検討することとなった。 | ・所有者の意向だけでなく、市としての考えを明確にするため、庁内検討会等を立ち上げる他、周辺の住民等のニーズ等の把握を行う必要がある。 |
| ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策 | まちなかへの居住促進 | ・都心居住推進事業について、広く市民等に周知するため、広報に掲載を行った。 ・住宅密集地区について、課題解決に向けた検討に着手した。 | ・住宅建設奨励会について〇件の問い合わせがあった。 ・都市再生整備計画事業の活用を想定し、庁内関係各課による具体化検討を進める。 | ・都心居住推進事業については継続してPRを行うとともに、居住環境の改善に向け、地権者や居住者等のニーズの把握を行う必要がある。 |
| | 駐車場周辺の交通混雑と歩行者の安全確保 | ・市、警察、商店街、まちづくり会社との協議による駐車場への誘導についてルールづくり。 | ・駐車場へ円滑に誘導するための標識の設置。 | ・歩道の確保や駐車場待ち用レーンの設置など、道路改良の推進 |

①

②

③

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

| 追加が考えられる今後のまちづくり方策 | 具体的内容 | 実施時期 | 実施にあたっての課題 その他特記事項 |
|---------------------|--|-------|---|
| 学生、子育て世代等のまちなか居住の誘導 | ・単身若年世代、子育て世代の都心居住支援について、都心居住推進事業の対象メニューに追加する。 | 令和5年度 | 庁内での協議・調整等を行うとともに、不動産所有者、民間企業等との連携により推進する必要がある。 |

④

① 今後のまちづくり方策(事項)

……事後評価シートの添付様式5-③から転記します。

② 実施した具体的な内容、実施した結果

……転記した各方策について、フォローアップ時点で確認した具体的な実施内容及び実施結果を記入します。

③ 今後の課題 その他の特記事項

……フォローアップ方策をさらに進めていくに当たっての課題や特記事項があれば記入します。

④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

……フォローアップを実施した結果、新たに追加が必要と考えられる今後のまちづくり方策があれば記入します。

特に、様式4-①又は4-②において、確定値が従前値又は評価値と比較して大きく差異がある場合や改善が見られない場合で、「改善策に補強が必要」及び「新たな改善策を立てる」を選択した場合には、この欄に具体的な方策を記入します。